



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インターアクション
コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 英雄
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	3,451	17.3	203	△39.9	186	△42.2	93	△68.1
27年5月期第3四半期	2,943	76.1	338	35.3	323	30.6	291	60.2

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 86百万円 (△73.2%) 27年5月期第3四半期 322百万円 (80.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	9.57	—
27年5月期第3四半期	29.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	5,761	2,642	45.8	271.40
27年5月期	5,285	2,726	50.2	272.81

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 2,637百万円 27年5月期 2,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	2.6	502	10.0	482	8.1	396	△6.8	40.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式数を控除した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期3Q	10,052,100 株	27年5月期	10,052,100 株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	335,600 株	27年5月期	335,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期3Q	9,716,500 株	27年5月期3Q	9,985,076 株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員株式報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向等を前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における内外経済情勢は、米国経済は好調な雇用情勢を背景に堅調に推移しているものの、欧州経済では長期化する緊縮財政の影響で雇用情勢が改善せず低迷が続きました。

また、新興国経済は中国経済の減速や中東情勢の悪化における不安定な動きなどがあり、先行きにつきましては、引き続き不透明な状況となっております。

わが国経済におきましては、政府による経済対策や日銀による金融緩和策が企業業績の改善を下支えし、緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢の悪化や中国をはじめとする新興国の景気減速による生産・輸出の鈍化や、株価下落・外国為替市場における円相場の不安定な動きなどもあり、先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおきましては、一部の顧客でスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資が一巡し、中長期的な投資戦略にはやや慎重な姿勢が見られるものの回復基調で推移いたしました。このような状況の中、当社グループは、コーポレートガバナンスの強化、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの売上高の状況につきましては、太陽光発電関連製品は、市場価格低下の影響を受け、販売及び利益はともに減少いたしました。また、環境関連製品につきましては、輪転印刷機向け乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置の販売が鈍化いたしました。一方、光学精密検査機器関連事業の主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、光源装置及び瞳モジュールの販売が順調に推移いたしました。また、精密除振装置につきましては、海外液晶パネルメーカー向けの販売が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,451百万円（前年同期の売上高2,943百万円に比し、17.3%の増加）となりましたが、主に太陽光発電関連製品の市場価格が低下したため、売上総利益は1,027百万円（前年同期の売上総利益1,027百万円に比し、微増）、営業利益は203百万円（前年同期の営業利益338百万円に比し、39.9%の減少）となりました。経常利益は186百万円（前年同期の経常利益323百万円に比し、42.2%の減少）となり、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益291百万円に比し、68.1%の減少）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、連結子会社の増加により、従来の「光学精密検査機器関連事業」「再生可能エネルギー関連事業」及び「環境関連事業」に「その他」セグメントを追加しております。

(光学精密検査機器関連事業)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、光源装置本体、瞳モジュールの販売は順調に推移いたしました。また、海外液晶パネルメーカー向け精密除振装置も加わり順調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,533百万円（前年同期の売上高732百万円に比し、109.3%の増加）、セグメント利益は474百万円（前年同期のセグメント利益245百万円に比し、93.5%の増加）となりました。

(再生可能エネルギー関連事業)

再生可能エネルギー関連事業につきましては、市場価格低下の影響を受け、販売及び利益はともに減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,059百万円（前年同期の売上高1,275百万円に比し、16.9%の減少）、セグメント利益は34百万円（前年同期のセグメント利益287百万円に比し、87.9%の減少）となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業につきましては、輪転印刷機向け乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置の販売が鈍化いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は842百万円（前年同期の売上高934百万円に比し、9.9%の減少）、セグメント利益は55百万円（前年同期のセグメント利益106百万円に比し、47.3%の減少）となりました。

(その他)

株式会社C u o nの連結子会社化により、当第3四半期連結会計期間から新設したその他事業につきましては、Web管理サービスが堅調に推移いたしました。株式取得関連費用及びのれん償却額の計上等によりセグメント損失となっております。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は15百万円、セグメント損失は47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ476百万円増加(うち、新連結子会社による増加分236百万円)し、5,761百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ186百万円増加(同203百万円)し、4,637百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が367百万円減少(同28百万円)したものの、現金及び預金が168百万円(同169百万円)、仕掛品が157百万円、前渡金(その他の流動資産)が221百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ290百万円増加(同32百万円)し、1,123百万円となりました。これは、連結子会社の増加により、のれんが251百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ560百万円増加(同92百万円)し、3,118百万円となりました。これは、1年内を含む社債及び借入金522百万円純増(同2百万円)したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、2,642百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益93百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金59百万円による利益剰余金の減少や連結子会社株式の追加取得による非支配株主持分の減少76百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年7月10日の「平成27年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社B I Jは、当社の連結子会社であったおひさま農場株式会社を吸収合併いたしました。これにより、おひさま農場株式会社が消滅したため、連結の範囲から除外しております。

第2四半期連結会計期間において、陝西朝陽益同精密设备有限公司を設立したため、連結の範囲に含めております。

また、第3四半期連結会計期間において、株式会社C u o nの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,673,106	2,841,314
受取手形及び売掛金	980,377	612,704
営業投資有価証券	148,214	131,984
商品及び製品	126,547	104,114
仕掛品	202,892	360,235
原材料及び貯蔵品	192,369	219,528
その他	133,799	375,269
貸倒引当金	△5,641	△7,466
流動資産合計	4,451,666	4,637,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	250,559	247,505
土地	133,362	133,362
その他(純額)	98,208	116,307
有形固定資産合計	482,131	497,176
無形固定資産		
のれん	192,572	444,522
その他	16,615	14,140
無形固定資産合計	209,188	458,662
投資その他の資産		
投資有価証券	247,706	240,627
その他	150,570	183,307
貸倒引当金	△256,192	△256,192
投資その他の資産合計	142,084	167,742
固定資産合計	833,404	1,123,581
資産合計	5,285,070	5,761,265

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	461,282	467,185
短期借入金	112,500	302,698
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	328,087	397,114
未払法人税等	76,947	58,870
賞与引当金	-	22,693
製品保証引当金	15,284	8,079
役員株式給付引当金	-	18,596
その他	292,776	293,360
流動負債合計	1,346,877	1,628,597
固定負債		
社債	190,000	150,000
長期借入金	950,207	1,253,566
株式給付引当金	1,643	1,955
退職給付に係る負債	59,612	63,976
資産除去債務	-	10,126
その他	9,884	10,621
固定負債合計	1,211,347	1,490,246
負債合計	2,558,225	3,118,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,537,028	1,513,063
利益剰余金	645,332	679,265
自己株式	△164,428	△164,428
株主資本合計	2,628,915	2,638,882
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,854	△1,861
その他の包括利益累計額合計	21,854	△1,861
新株予約権	-	5,400
非支配株主持分	76,075	-
純資産合計	2,726,845	2,642,421
負債純資産合計	5,285,070	5,761,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	2,943,025	3,451,554
売上原価	1,915,388	2,423,751
売上総利益	1,027,636	1,027,803
販売費及び一般管理費	688,882	824,259
営業利益	338,753	203,543
営業外収益		
受取利息	1,053	2,411
受取配当金	143	101
持分法による投資利益	75	1,136
貸与資産賃貸料	7,705	7,184
為替差益	9,451	-
保険解約返戻金	-	10,066
補助金収入	-	11,531
その他	3,944	4,708
営業外収益合計	22,374	37,140
営業外費用		
支払利息	18,781	18,707
為替差損	-	14,002
貸与資産諸費用	8,052	7,128
その他	10,946	13,891
営業外費用合計	37,780	53,729
経常利益	323,348	186,954
特別利益		
負ののれん発生益	57,571	-
固定資産売却益	-	2,529
特別利益合計	57,571	2,529
特別損失		
固定資産除却損	36	547
固定資産売却損	-	399
子会社整理損	-	4,384
特別損失合計	36	5,331
税金等調整前四半期純利益	380,883	184,152
法人税、住民税及び事業税	103,096	42,160
法人税等調整額	△23,970	29,009
法人税等合計	79,126	71,169
四半期純利益	301,756	112,983
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,834	19,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	291,922	93,007

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	301,756	112,983
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	4,990	-
為替換算調整勘定	14,947	△25,854
持分法適用会社に対する持分相当額	633	△693
その他の包括利益合計	20,571	△26,547
四半期包括利益	322,328	86,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309,915	69,291
非支配株主に係る四半期包括利益	12,412	17,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	光学精密検査 機器関連事業	再生可能エネルギー 関連事業	環境関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	732,721	1,275,780	934,523	2,943,025	—	2,943,025
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	732,721	1,275,780	934,523	2,943,025	—	2,943,025
セグメント利益	245,061	287,048	106,222	638,332	—	638,332

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	638,332
全社費用(注)	△293,933
たな卸資産の調整額	△5,644
四半期連結損益計算書の営業利益	338,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社エア・ガズ・テクノスを連結子会社としたことに伴い、「環境関連事業」セグメントにおいて210,079千円のをれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

第2四半期連結会計期間において、明立精機株式会社及びその子会社であるMEIRITZ KOREA CO., LTD(韓国)を連結子会社としたこと並びにその子会社であるMEIRITZ SHANGHAI CO., LTD(中国)を持分法適用会社としたことに伴い、負ののれん発生益57,571千円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学精密検査 機器関連事業	再生可能エネルギー 関連事業	環境関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,533,405	1,059,997	842,369	3,435,771	15,782	3,451,554
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,533,405	1,059,997	842,369	3,435,771	15,782	3,451,554
セグメント利益 又は損失 (△)	474,265	34,724	55,969	564,959	△47,088	517,871

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webシステムの受託開発・コンサルティング事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	564,959
「その他」の区分の利益	△47,088
全社費用 (注)	△308,045
たな卸資産の調整額	△6,282
四半期連結損益計算書の営業利益	203,543

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社Cuonを連結子会社としたことに伴い、「その他」セグメントにおいて269,954千円のものれんを計上しております。